10月号　　令和５年９月２９日

京橋朝海幼稚園園だより

地域に支えられて学ぶ

園　長　　眞家　順子

生活に必要な物が、オンラインで購入ができ、現金を使う機会が減っています。そのため子どもたちに、お金の価値をどう伝えていくか、難しさを感じます。幼児期の子どもに対して、そう思うのは、お金を使って購入した物を大切に扱ってほしいからです。物を大切に扱うことは、人に対する関わりにも通じていくと考えます。

保護者も、お金の価値を子どもたちにどのように伝えていくか課題に捉えて、11月のPTA家庭教育学習会で、お金の教育について取り上げます。幼稚園では、１学期末に地域の銀行に協力を得て、年長児・年中児を対象にお金のこと学びました。銀行の方が教材を工夫してくださり、おもちゃのお金とカードを使って買い物をし、お金は使ってしまったら見えても見えなくとも、無くなることを体験しました。一度の体験で、この難しい仕組みを理解できるとは思いませんが、これから先、「あのときのことは、そういうことだったのか」と原体験に繋がっていくと考えます。

そして先日は、現金を使って本当の買い物をしました。中秋の名月に必要なお供え物とススキを、年長児・年中児が分担して出かけ、現金を使ったやり取りを地域のお店の方とさせていただきました。

年長児は３人~4人のグループで、「○○ください」とお店の方に働きかける係、お金を渡す係、おつりをいただく係、品物をいただく係と分担を決め、友達と協力して購入する体験をしました。年中児は、２人組で「ください」と言ってお金を支払いました。買い物から帰ってきた後の子どもたちは、大変うれしそうな表情で、他学年に何を買ってきたか、いくらお金を支払ってきたのかを話してくれました。自分たちで、現金を払い、物を得る直接体験をしたことで、お金と物の仕組みを感じたことでしょう。実際に、自分でやってみることの大切さを感じます。

お忙しい中、地域の皆様には、子どもたちの学びに御理解と御協力をいただき、感謝申し上げます。子どもたちは、地域で育っていきます。これからも、様々な人と関わり、学びを紡いでいけるよう、地域に親しみをもたれる園であるように、努力していきたいと思います。

＜今月の学年の目標＞

☆３歳児めだか組　・近くにいる友達と同じ動きをしたり、同じものを身につけたりしながら遊ぶ楽しさを感じる。
・教師や学級のみんなと一緒に体を動かしたり、秋の自然に触れたりすることを楽しむ。

☆４歳児いるか組　・一緒に遊んでいる友達に、自分の思いや考えを出しながら関わって遊ぶことを楽しむ。
・戸外で伸び伸びと体を動かしたり、秋の自然に触れたりして遊ぶことを楽しむ。

☆５歳児かもめ組　・自分の思ったこと、考えたことを相手に分かるように伝えたり、友達の考えを受け止めたりしながら、一緒に遊びや生活を進めていく楽しさを味わう。
・身近な自然の変化に気付き、感じたことを表現したり、自分たちの遊びに取り入れたりする。